

2020年は公共施設再編に向けての動きが加速する見込み

コンパクトな市の運営に向かって

長びく地方経済の低迷や、ますます進行するであろう少子化などを前に、地方財政は依然として厳しい状況にあります。2万3000円台後半で推移する株価などの現状から、日本の景気は上昇傾向にあるとする見方もあります。しかし、今年度2019年度の松戸市の財政を見ても、歳入の根幹をなす市税収入が今後増えていく予測は立ちません。松戸市も、健全な財政執行に向けてさらに意識を高く持つことでこの難局を乗り越え、危機的な財政状態を打破していく努力がますます求められていると感じます。

健全な財政の実現には、膨大に膨らみすぎた公共施設の再編が不可欠です。高度経済成長期移行、ベッドタウンとして急成長を遂げた松戸市は、小中学校や市民センターなど、数々の公共施設の建設に着手してきました。もちろん、これまでは市民のニーズに応える意味でも必要なことでした。しかし人口減少社会に転じたいま、公共施設の維持は、財政的に大金負担となっています。コンパクトな市政運営に向かって、大きく舵を切る時代に突入しています。



市庁舎移転も柔軟な発想で実行

現在進められている公共施設の建設計画の中で、最も関心を集めているものが市役所庁舎についてでしょう。計画としては決定してはいませんが、松戸駅東口方面の相模台エリアに市庁舎を移転建替えしたいという意向を、市は持っています。この市庁舎移転を機に、図書館などを併設した複合施設や、総合公園の建設なども併せて行う「相模台新拠点ゾーン」作りの計画を進めたい意向です。

しかし、ここにきて、現地建て替え案も浮上してきました。コスト面や、既存の公共施設の再配置などを考慮すると、現地建て替えが総合的に見て有利になる部分があるとの専門家の意見が出てきているのです。どの手法が市民と市財政にとって最大のメリットを生めるのか、議会としても早急にかつ柔軟に検討を進めていきます。

各所で毎朝演説しています

地域との対話と交流こそが政治の原点と考えるみのわ信矢は、毎朝の通勤時間帯の駅頭や街頭で、演説をしています。常盤平、八柱、五香、みのり台など、どこかの駅でみのわ信矢をお見かけの際は、市政へのご要望やご意見など、ぜひお伝えください。市民の声が生きる議会活動をこれからも続けていきます！



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ **みのわ信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94